

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月 10日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス ステラ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	状況に応じて、スペース確保・安全管理の為、ホワイボード等を移動している	・仕切り、物の配置次第では、更に有効活用できるスペースが設けそう。検討の余地あり ・相談室のパーティションを移動すれば、少し広く使える
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	・配置基準に沿って配置されている	・状況に応じて、支援拡充のため増員の検討
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	1	・事業所内の設備は問題なし ・転倒しても痛くないように、クッション性のあるものを床材に使用している	・外階段に手すりがない為、バリアフリー化は完全ではない。増設工事には管理会社との相談が必要 ・相談室のドアにストッパーの設置
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	1	・朝礼、ミーティングで共有、意見交換を継続していく	・ミーティングで周知 ・定期的にスタッフ間で確認し、業務改善を図っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	・結果を共有し、改善に努めていく	・今年度から開業の為、現在取り組み中
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	1		・今年度から開業の為、集計結果はこれから公表していく。ホームページを持っていないため、適切な形式で公表していく ・自事業所のホームページ作成を進めていく ・事業所内に掲示し、訪問者にも確認できるよう周知していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1		・外部評価は未実施。今後導入検討
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・法人内外問わず、研修機会を設けている ・毎月1回、社内研修を行っている ・毎月、社内研修を行うように日程を組み、取り組む事ができている	・外部研修の情報収集を行い、受講希望する研修がある際は受講に向けて調整・検討を行っている
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	・児童の様子観察、保護者面談、関係者との連携と共にアセスメントを行っている	・定期的に児童、保護者と面談を行い、両者との関係性構築と共に特性把握、課題、ニーズ把握に努める
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	・独自の面談シート、アセスメントシート、評価表を用いて定期的に見直しを行っている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	・毎月スタッフミーティングにて全体で案を出し合い、活動プログラムを組んでいる	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・活動を曜日、児童に固定しないで、利用者が満遍なく色々な活動に参加できるようにしている。新しい活動も積極的に取り入れている ・スタッフ間で話し合い、色々なプログラムを取り入れている		
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	・きめ細かく支援できるよう、活動内容を構造的に行っている ・平日と長期休暇中の一日の流れに工夫を行っている		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		0	・個々の課題に沿って、個別支援、小集団での支援を取り入れられている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		0	・朝礼にて前日の支援内容、当日の支援内容の確認・打ち合わせを行っている ・活動内容によっては事前に確認を取り合い、連携し組み立てていく事もある ・毎朝ミーティング時に今日の活動のリーダーが職員全体へ活動の流れを説明し、サブリーダーと一緒に連携を取って活動に取り組んでいる	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		0	・児童、保護者の様子等の共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		0	・毎日、業務日誌、個別支援記録に支援内容を記載している	・スタッフそれぞれで記録内容を見直し、スタッフによる記録内容のムラ等をなくし、記録の質の向上を目指す。課題のみに着目せず、日々の変化や各自の特性把握、出来ている点等の評価と共に客観的視点で、より明確に記していく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		0	・6カ月以内に1回、独自の評価表を用いてモニタリング実施し、個別支援会議での共有を行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5		0	・ガイドラインに沿って、総合支援型として支援の提供を行っている	・ガイドラインをどのスタッフでも閲覧できるように整理する	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	・児発管を中心に決められたスタッフで会議に出席するようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	・担任の先生を中心に些細な事でも、日々情報交換を行い、児童の特性把握やトラブルが起きないように適切に対応している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	0	・(医療的ケア児の受入れ、重心児の受入れはないが)主治医の連絡先は全児童に聞いている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	0		・就学前の情報は、相談員からの基本情報が主となっている。その他の情報は保護者や相談員から直接聞き取りを行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	0		・卒業生がまだおらず、障害福祉サービス等に移行した実例がない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0	・他事業所と各々の支援方法や専門的支援内容の情報交換を行っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	0	・地域の児童センターを利用したり、催し物に参加し、交流を図っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	0	・市こども部会主催の連絡会に参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	・送迎時に保護者へ本日の出来事を報告、LINE等のツールを使用して状況報告を行っている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	0	・保護者から相談がある際は、専門的知識をわかりやすい言葉で助言を行っている	・コロナ改善後は、講座等の開催を検討していく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	・契約時、契約書、重要事項説明書を丁寧に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	・悩みを聞いて、関係機関と連携し助言等を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	1		・コロナ禍で未実施。今後開催検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・学校、保護者から寄せられる苦情がある場合に迅速に対応できるようにしている	・苦情対応窓口があることを保護者、スタッフに周知していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	・月1回、利用希望確認と共に活動予定表を配布している	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	・最大限の配慮を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	・保護者の体調に配慮し、申し送り等の調整を行っている	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	0	・季節行事に同市の他事業所を招いたり等の交流を図っている	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行ったり、ミーティングでマニュアル確認を行っている ・マニュアル見直し、整備を行い、スタッフ間への周知のみならず、保護者へ事業所マニュアルの配布等の周知を図っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動にも取り入れ、避難訓練を行っている 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待委員会の設置 ・定期的に事業所内で虐待研修を実施 ・虐待研修で、虐待について、対応の仕方等の学ぶ機会を作っている 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0		身体拘束を行う事例がなく、想定する程の行動障害を有した児童の利用がない。今後必要がある際はしっかりと具体例を示し、保護者への説明と共に計画書に明記していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面談にて確認を行っている 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日にあったヒヤリハットを管理者にほうこくした上で、スタッフで共有し、記録を作成して保管している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは事象が起きたら都度作成し、直ちに確認・共有していく